

# 福祉避難所にハピネスの活用を

町長 見直し等を進めたい

齊藤 好信 議員



## 福祉避難所の確保を

**質問** 災害・防災時の対応は、町として様々な準備をしてきたと思うが、冬期間の対応は手薄になっていないのか。町民の安心・安全の確保のために万全を期すべきだ。また、災害時に、高齢者、障害のある方、病弱な方、一人親の家族、乳幼児を抱える方などが安心して避難できる「指定福祉避難所」を確保すべきで、町の施設の「ハピネス」を活用してはどうか。

**町長** 下川町地域防災計画では、スポーツセンターを福祉避難所として位置づけているが、福祉避難所として、バリアフリーで相談支援が受けやすく、支援者を確保しやすい施設が必要なことから、災害時には施設の状態や施設での対応を含めて適切に避難できるように見直し等を進めたい。

**再質問** 公共施設に設置しているバイオマスボイラーの補助電源は確保されているのか。

**副町長** 現在、補助電源の確保はできていない。停電の時はすべて止まる。

## 保育士採用に希望の勤務時間導入の検討を

**質問** 保育事業は第一に、子育て世代の利便性を考慮すべきである。担い手不足の現状の体制では、保育を必要とする実状に、対応できていない。保育士の採用の取り組みに、相手の希望に沿う勤務時間を取り入れる「変形時間制」の導入を提案したい。

**町長** 子育て環境の整備を後退させないためにも、適切な運営を図っていく必要があると認識している。業務の繁忙がある場合に取り

入れられる「変形労働時間制」よりも、現在の交代制勤務を引き続き行っていくたい。

## 高校生の通学費助成

**質問** 子育て世代の教育費負担軽減について、町外へ通学する高校生を持つ家庭の通学費に係る経済的負担は非常に大きく、所得の低い世帯の生活費を圧迫している現状がある。教育への投資は、格差の固定と貧困の連鎖を防ぐ意味でも非常に大事である。町民の福祉向上という平等性の上からも、通学費の助成をすべきではないか。

**町長** 町としては地元で高等学校教育を受けられる環境の維持、発展に向けて、下川商業高校の持続的な存続に向けた生徒確保のために、通学費支援を行っている。町外への学校に通学の

ための支援は考えていない。

**再質問** 商業を学びたい子供は下川商業高校に、機械、建築、電子、農業の技術を身に付けたい子供は名寄産業高校に、将来的に進学を希望するのであれば名寄高校へ、それは目的を持った子供の選択肢である。家庭の経済的事情によって、自分の進路が阻害されるということは避けなければならない。

**町長** 下川商業高校の存続は、私の命題であり、下川の子供たちが下川商業高校に通っていただくことをベースに考えている。現時点では、そこまでは考えていない。

